

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業 [企業等との連携事業 (まなび CAN・CSR 教室)]

「ちょっと知って生活に役立つ講座 ー電気・省エネ・防災ー」

を開催しました



平成23年6月17日・24日、7月1日の3回にわたり、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会との共催事業による講座「ちょっと知って生活に役立つ講座 ー電気・省エネ・防災ー」を開催しました。

第1回のテーマは、「電気製品の安全使用」でした。洗濯機、掃除機、電子レンジ、ルームエアコン、暖房機器など、家庭にある家電製品の選び方や設置の仕方、上手な使い方を講師の谷本大作さんから学びました。「長年使用すると熱や湿気、ほこりなどの影響により内部部品が劣化をし、発煙・発火のおそれがあります。十分気をつけてください。」と、おっしゃっていました。

第2回のテーマは、「家庭内の省エネ (節電)」でした。講師にパナソニック電工株式会社の高橋さんも迎え、省エネを実践するための方策を教えてくださいました。冷房を1日1時間 (28℃設定) 短縮すると、年間で電気 18.78kwh の省エネになります。また、物を詰めこんだ状態の冷蔵庫を半分にした場合では、年間で電気 43.84kwh の省エネにもなるそうです。(ただし機種や環境等に異なります) また、今話題の LED と蛍光灯、白熱電球を実際につけて、それぞれの長所や短所を説明していただきました。LED は発光効率が高いため、従来の白熱照明と同じ明るさを作るのに必要な電力が少なくすみ、電球交換の手間も省けます。

第3回のテーマは「家庭内の防災」でした。まずは、家庭内の事故 (入浴時、トイレや階段での事故) を防ぐために気をつけることを学びました。家庭内の事故は、交通事故より多いそうです。次に、火災や地震の対応策、防犯対策について学びました。「日頃からできる限りの備えを講じておくことが大切です。いざというときのための心がけと万全の準備をしておきましょう。」とのことでした。

今回の講座では、安全・安心に暮らすための基礎知識として、知って得をするたくさんの情報を学ぶことができました。

